

ようじえんだより 2021年度5月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

5月主題『動き出す』

主題聖句：安心して行きなさい。 マルコによる福音書5章34節

- ☆ 0歳児：神さまのお守りの中、園生活に慣れていく。穏やかで優しい言葉をかけられ満たされて過ごす。保育者に守られ安心して過ごす。
- ☆ 1～2歳児：一緒にいる保育者や友だちと安心して過ごす。周りの大人に十分に受け止めてもらって、思いを表現する。(保育者) 個々の様子をじっくりと見つめ、一人一人に必要な言葉と手を添えて関わっていく。
- ☆ 3歳児：保育者や友だちと一緒にさんびかを歌うことやお祈りをするを喜ぶ。身の回りのことを、保育者に助けられながら安心して行う。(保育者) 一人一人の在り方で、好きなことをみつけて動き始める姿を見守る。
- ☆ 4～5歳児：感じて考えて、自分のやり方で動き出し、様々なこと(遊び)に興味をもつ。周りの人に支えられながらも、自分の思いをもって主体的に生活する。(保育者) 子どもが興味関心を抱き、楽しく取り組めるような環境をつくる。

Q、上の子が下の弟にきつくあたったり、時には叩いたりします。親としてもその都度叱っているのですが、なかなか直りません。どうしたらいいでしょうか。(5歳 F夫ママ)

A. 上のお子さん優先を原則にしつつ、その都度柔軟に対応してはどうでしょうか。

F夫ママさん、男の子同士のケンカは幼児とはいえ、なかなか激しいものでしょうし、親として心配になる気持ちもわかります。一般論としてはどんな兄弟姉妹でもケンカはするものですし、時には手が出るような激しいケンカになる時もあるでしょう。特に幼児期はケンカなどの意見のぶつかり合いも仲裁の仕方によっては成長の糧になります。

ただし本当に仲の悪い兄弟姉妹関係もあります。特に私はキリスト教の牧師として葬儀を執

行することがありますが、本当に連絡を取り合わない兄弟姉妹というのは意外と存在します。そして、ケースバイケースですが、本当に仲の悪い兄弟姉妹関係には親の関わりがあるように感じます。特に親がどちらかの肩を一方向的に持ち、明らかに不公平な対応を続けた場合兄弟仲は本当に悪くなり長引くことになります。

児童精神科医の佐々木正美先生は「兄弟関係は基本的に上の子を優先してください」と語っています。下の子を優先し続けた場合、「下に弟や妹ができたから自分がないがしろにされる」とインプットされるのだそうです。しかし上の子優先の原則をもとに「本当はお兄ちゃんの番だけど弟がぐずるから、今は弟を先にさせて」とお願いすると、多くの場合、上の子は安心して下の子の存在を受け入れられるようになるそうです。 園長：久保田愛策

年間主題『共に喜んで～すべての歩みの中～』

主題聖句：一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、

一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

新約聖書 コリントの信徒への手紙I 12章26節